

こんなことします！（活動計画）

●ひまわり運営委員会 2月2日(月)
直近の子ども支援活動を計画、実行する会です。
月一回開催されます。

●ヨガ教室
2月16日(月)



ひまわりヨガ教室を自治会館で行います。地域の方々の参加も歓迎。和気あいあいとした活気ある部会です。

●保護者とボランティアの子ども理解研修
2月21日(土)

子ども支援のボランティアの資質を高めるための研修会です。支援方法の他に特性や障がいについての研修も実施されます。保護者の参加も可能です。月一回開催されます。

●ふれあいレストラン 2月28日(土)

ひまわりでは月1回ふれあいレストランを開いています。サタデーフリーダムスクール、オルタナティ

ブスクールの子どもたちやボランティア、保護者が一緒にになっていただく楽しい時間です。メニューはカレー、サラダ、スープなどを（1食150円）提供します。

●卒業式 3月21日(土)

今年もしらとり台自治会館において「ひまわり小さな卒業式」を執り行います。当日は卒業生の保護者、ボランティアスタッフ、来賓の方々でひまわりならではの趣向を凝らした卒業式を計画しています。



昨年の卒業式

ボランティアの先生を紹介します

VOL
34

南 としえ先生

南先生は、地元の主婦です。子どもの見守り活動を中心にボランティアをしております。穏やかな先生は、いつも子ども達に寄り添って温かな視線を送っております。集団になじめない子どもにそれとなく接する姿はとても印象的です。

入学間もない子ども達や控え目の子ども達にとっては、大変に心強い存在です。

オールマイティの活動をする南先生は子ども達にとっても、仲間のボランティアにとても貴重な存在です。

青葉区しらとり台在住

趣味はギター、編み物、ヨガ

ひまわりの現況

- 通学制 開校日：月・水・金・土 / 10時～14時30分
- オルタナティブ 開校日：火・木・土 / 10時～14時30分
- 通信制 オンラインを通してゲームから学習支援までひまわり目線の支援を行います。
支援時間と内容は、本人と相談の上で行います。
- 現 況 生徒数：(約) 60名 / ボランティア：(約) 20名
- 内 容 時程：10時開門（学習）、12時10分昼食（食後レク）、12時55分（校長タイム）、1時20分（フィールドタイム）、2時半（帰りの会）（下校）

ボランティアスクール
「横浜みどりの学校ひまわり」



ふれあい

学校だより 2026年2月号 No.75

こんな学校があつてもいいかも
(既存の教育にとらわれない学校)

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール（私塾）です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもたちは地域で育てる」「金のかからない教育」などを掲げて、14年前に開設されました。

教師の資質

—教師生活50年の変遷と子供達の現状—

校長 渡辺 正彦

今から50年以上も前、新米教師の私を先輩の先生達は口々に「教師は時には台本家であり、時には役者ではなくてはならない」と論じたものです。これは、子どもを教育するにあたってしっかりとした台本を作成して子どもの心情に訴える演技（授業）をしなければならないと言うことでした。

あれから半世紀以上が過ぎて、今も教育に携わる私、特に学校で苦戦する子ども達を支援する今の自分にとって教師は「台本家と役者」の役割だけでは済まないのが実情である。

ASD（自閉症スペクトラム）で拘りのある子どもや完璧主義の子ども対応、ADHD（注意欠陥・多動症）でケアレスミスや落ち着きの欠ける子どもの対応、HSC（人一倍過敏な子ども）で他人の動向を必要以上に気にかける子どもの対応。その他にも場面緘黙症の子ども対応、脅迫性障害や不安障害の子ども対応、双極性障害の症状に悩む子ども等々、現在の私が接する子ども達の事情は50年前には想像もつかない変貌ぶりでありもはや「教師は台本家と役者」だけでは済まされないのであります。今の私は、「演出家、法律家、心理学者、医者に加えて時には即興詩人」でもありますネガティブの子どもを励ます喜劇役者でもあります。

教師としての私の役割が50年の間にこの様に増加したのは、小中学校の不登校の数が35万人という膨大な数に上ったのと無関係ではない。「不登校」と一くくりに言っているがその原因は心的要因だけでも多数であり、複雑である。

このような変化した教育現場の状況の中で、今まさに教師の柔軟な資質が求められます。

教科書通りの指導やカリキュラムべったりの指導から子どもやその状況にあった柔軟な指導や支援が不可欠です。

横浜みどりの学校ひまわりでは、歌から情景を類推する「歌謡学習」、自ら国を造る「建国学習」、検定制度である「漢字道場」「算数道場」「英語道場」の他に自らの興味関心を追究する「研究学習」、「基礎・基本学習と一芸に秀でた能力を伸ばす「学習」など、子ども達の個性や特性を刺激するオルタナティブの教育支援に時間を費やしております。

こんなことしました！（活動報告）

どんど焼き

1月11日(日)さつきが丘小学校「郷土史の会」が主催する「下台のどんど焼き」が行われ、ひまわりは今年も後援として参加しました。

バザーや新メニューのカレー焼きそば、フランクフルト、玉こんにゃくなどを販売し会場を盛り上げました。

また、子どもたちはクレーンゲームの売り子として活躍しました。



農園だより

冬本番のひまわり農園では、大きな白菜、菊芋、キャベツ、ブロッコリー、ヤーコンなど冬野菜の収穫を迎えています。これからの季節は夏野菜の苗作り作業が始まります。



学校で悩んでいる子どもを応援します

人間関係が苦手、学校が合わない、不登校気味、学力不振、学習に集中できないなどの子どもたちを積極的に支援します。

支援者は現任教師、塾指導者、臨床心理士など様々です。それぞれの専門分野から

子どもに合った支援をします。活動費として月1000円から3000円で運営しています。

体験期間の2週間は無料です。

お問い合わせは



090-9201-3992

渡辺まで



本校の事業は、赤い羽根共同募金を財源とした青葉区社会福祉協議会の「あおばふれあい助成金」の配分を受けて活動しています。



ひまわり運動会

昨年11月29日(土)にさつきが丘小学校の体育館にて運動会を開催しました。子どもたちと保護者、ボランティアが一緒になって、借り物競走や短距離走、障害物競走、綱引き、玉入れなどの競技を競い、子どもたちはみな躍動していました。



クリスマス会

昨年の12月20日(土)、一昨年好評だったクリスマス会を開催し、ひまわりの多くの子どもたちが参加しました。

スマブラ大会や持ち寄ったクリスマスプレゼント交換、bingoゲームなど笑いが絶えない一日となりました。

この日に合わせふれあいレストランが開かれ、クリスマスランチを皆で味わいました。



ボランティアを募集しています

フリースクールひまわり

月・水・金・土曜日

午前10時から午後2時30分
(週1回・午前・午後のみ可能)

- 子どもの見守り
- 学習指導・支援
- 支援金事務
- 農作業
- にわとりの世話
- 保護者や子どものカウンセリング
- その他

オルタナティブスクールひまわり

火・木・土曜日

午前10時から午後2時30分
(週1回・午前・午後のみ可能)

- 子どもの見守り
- 学習指導・支援

お問い合わせ

090-9201-3992

(渡辺)

ホームページはこちら



ひまわりは、公益財団法人 公益推進協会こどもオポチュニティーズクラブ基金の助成を受けて運営されています。